

平成 30 年度 国内需要安定化事業
「奄美・琉球」観光・交流連携体制構築事業
エコツアーガイド交流及び Web サイト改修業務
企画公募型コンペティション 仕様書

平成 30 年 8 月
鹿児島県・沖縄県

1 業務の目的

平成 25 年にユネスコの世界遺産候補地として選定されていた「奄美大島、徳之島、沖縄本島北部、西表島」の今夏の登録が延期となったため、今後は平成 32 年の登録を見据え鹿児島県・沖縄県の両県一体となってプロモーションを行っていく。

自然資源の保全と持続的利用を考慮しつつ、鹿児島・沖縄両県の連携を促進することによって、域外からの観光客の一層の誘致を行い、両地域の観光振興を促進する「奄美・琉球」観光・交流連携体制構築事業を展開することを目的に「公募型コンペティション」により企画提案を募集し、総合的な評価に基づき、受託事業者を選定する。

なお、本業務は、鹿児島県が観光かごしま大キャンペーン推進協議会（事務局：公益社団法人鹿児島県観光連盟）（以下、「K.P.V.B」という。）に、沖縄県が一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下、「OCVB」という。）にそれぞれ委託して共同で取組む『平成 30 年度「奄美・琉球」観光・交流連携体制構築事業』により実施するものとする。

2 業務の概要

本業務は、世界自然遺産登録候補地（奄美大島、徳之島、沖縄島北部、西表島）を持つ鹿児島県及び沖縄県でガイドを行っているツアーガイドが、両県の登録候補地を視察し、各地域の課題や現状を学び、相互理解の促進及び交流ネットワークを構築することで、世界自然遺産登録に向け足並みをそろえることを目的とする。

また、鹿児島県及び沖縄県が「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録に向けてプロモーションを行っていることを周知し、両県における更なる誘客促進に繋げ、同地域の保全環境の整備をしつつ、観光経済効果を引き出すことを目指す。

3 業務委託の内容

本仕様書が規定する業務委託の範囲は次のとおりとする。

(1) エコツアーガイド交流

① 現地視察行程の作成

世界自然遺産候補地及び屋久島の現地視察の行程を運営事務局と協議の上、作成すること。

視察地域：鹿児島県／奄美大島、徳之島、屋久島

沖縄県／国頭村、東村、大宜味村、西表島

視察場所：運営事務局と協議の上、確定する。

視察時期：平成 30 年 11 月中を予定

鹿児島（奄美大島、徳之島、屋久島）最大日数 8 泊 9 日（2 泊 3 日の 3 コース等想定）、
沖縄（沖縄島北部、西表島）最大日数 6 泊 7 日（2 泊 3 日の 2 コース等想定）で計画すること。

視察人数：最大 20 名（ガイド、同行職員含む）

＜鹿児島県＞鹿児島本島 2 名、奄美大島 3 名、喜界島 1 名、徳之島 1 名、ヨロン島 1 名、沖永良部島 1 名、ライター 1 名 合計 10 名

＜沖縄県＞沖縄本島 6 名、西表島 3 名、ライター 1 名 合計 10 名

②旅行手配

①の現地視察に係る航空券、宿泊施設、移動手段等の手配

ア、航空券

航空券は変更可能な運賃とする。

イ、宿泊施設

OCVB 旅費規程に準じ、1 人 1 泊 9,800 円以内で手配することとする。

シングル、禁煙、1 泊 2 食付き（朝・夕）

参加者全員が同じ施設に宿泊することが困難な場合は、施設を分けてもよい。

ウ、移動手段

視察中の移動手段として、視察場所に合わせた交通手段を手配すること。

中型バスが可能な場所においては、中型バスを手配すること。

エ、現地視察に係るガイドツアーの手配

ツアー内容は、運営事務局が指定するものを手配すること。

③各種資料の作成

ア、運営事務局と相談の上、以下の内容を記載した参加者の手引きを作成すること。

- ・事業の目的、概要、スケジュール、旅行保険の補償する範囲、緊急連絡先、参加者名簿
- ・参加者の手引きは参加者の他、同行職員分も用意すること。

イ、現地視察実施前後のアンケート等の作成、回収

- ・アンケートの内容については事前に運営事務局と調整すること。
- ・アンケートは各地域で実施する意見交換会で配布し、参加者全員分を回収すること。

ウ、報告書の作成

現地視察の様子をまとめた報告書を作成すること。

エリアごとにまとめ、課題や現状やアンケート結果を含め報告会で使用できるような内容とする。

詳細は運営事務局と協議の上作成することとする。

④座学及び意見交換会・報告会における運営及び会議室等の確保

視察前に実施する座学及び視察後の意見交換会・報告会において使用する会議室の手配、各種資料の準備、司会進行をすること。

ア、座学

回 数：奄美大島 1 回、徳之島 1 回、沖縄島北部 1 回、西表島 1 回 合計 4 回

会 場：運営事務局と協議の上、決定する。

参加者：エコツアーガイド交流に参加するガイド（自身のエリアで実施される回に参加）

地域でガイドツアーを行っている事業者（自身のエリアで実施される回に参加）

運営事務局

講 師：運営事務局と協議の上、決定するが、現地の講師を派遣する予定。

※講師の謝金は 1 回 14,000 円とする

イ、意見交換会

回 数：奄美大島 1 回、徳之島 1 回、沖縄島北部 1 回、西表島 1 回 合計 4 回

会 場：宿泊先ホテル周辺

参加者：エコツアーガイド交流に参加しているガイド、運営事務局

ウ、報告会

回 数：奄美大島 1 回、徳之島 1 回、沖縄島北部 1 回、西表島 1 回 合計 4 回

会 場：運営事務局と協議の上、決定する。

参加者：エコツアーガイド交流に参加するガイド（自身のエリアで実施される回に参加）

地域でガイドツアーを行っている事業者（自身のエリアで実施される回に参加）

運営事務局

⑤動画の制作

現地視察の様子を撮影した下記 2 種類の動画を制作すること。

- ・ 報告会用動画：現地のガイドが講習等で使用できるような内容とする。
- ・ PR 動画：プロモーションで活用できるような内容とする。

(2) Web サイト「時を紡ぐ彩の島、奄美・琉球」の改修

ア．世界自然遺産登録候補地を訪れる際の注意事項等記載ページの追加（5 ページ程を想定）

イ．上記アの記事を作成するライターの手配（エコツアーに同行するものとする）

ウ．バナーの作製（外部リンク誘導）／約 10 種類想定

※受託事業者は、写真素材の準備や原稿、ページのデザインを作成し、コーディング、FTP からのサーバーアップまで行うこと。

(3) 業務目的に応じたメディアプロモーション展開・手法の提案

ア、Web サイトへの誘導施策（YouTube 広告等）

イ、プロモーション媒体の選択

ウ、3．業務委託の内容（1）⑤で制作した動画の活用施策

(4) 委託業務全体を統括する担当者 1 名の配置

(5) 業務完了報告書の作成（2 部）

- ・ 個別の実施内容や事業効果とともに、業務全体の分析・報告を取りまとめること。
- ・ 業務にかかった費用内訳及びその支払を証明する証憑書類（見積書、納品書、請求書、領収書、支払証明書等根拠資料）を提出すること

(6) その他、業務実施にあたり鹿児島県、K.P.V.B、沖縄県、OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務。

4 企画提案内容

企画提案は以下の内容とすること。

(1) 媒体の選択

- ・ 需要に応じた、効果が高い媒体を選択する。
- ・ 原則として、鹿児島県、K.P.V.B、沖縄県、OCVB 所有の素材を使用すること。
ただし、企画提案において、必要と判断した場合は、制作及び新規撮影等を妨げるものではない。
- ・ 各メディア等の仮承諾書（実施の実現性の承諾）を得ること。

(2) プロジェクトスケジュールの設定

スケジュール設定にあたっては、平成 30 年 12 月より随時プロモーションが実施されるものと想定し、スケジュールを設定すること

(3) 企画実施体制

外部発注を行う際は、発注先が県内事業者か県外事業者かを明記すること

(4) 事業完了報告方法

5 成果物等一覧

受託事業者が提出すべき成果物等は表 1 のとおりとする。

表 1 成果物等一覧

項 目	内 容
素材データ	本業務で撮影、また使用した映像のデータ、WEB サイト等の電子データ (K. P. V. B、OCVB 各 5 部)
紙媒体	掲出した紙媒体 (各 5 点)
HD カム	作成した 2 種類の動画 (K. P. V. B、OCVB 各 1 部)
業務完了報告書	本業務の効果を検証した報告書、データ (K. P. V. B、OCVB 各 1 部)
その他	業務実施にあたって制作した成果物 (K. P. V. B、OCVB 各 5 点) ※当該成果物の中間生成物含む

6 スケジュール

受託事業者は下記のスケジュールで業務を実施すること。

- ・受託事業の実施：平成 31 年 2 月 28 日（木）まで実施
- ・成果物（各期報告書除く）及び業務完了報告書の提出：平成 31 年 3 月 5 日（火）まで

7 瑕疵担保責任

OCVB への引き渡し日から起算して 1 年の間、成果物に瑕疵があるときは、受託事業者は無償で当該成果物の修補を行うこと。

8 著作権・特許等

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、全ての著作権（著作権法第 27 条及び 28 条に定める権利を含む財産権）を、鹿児島県、K. P. V. B、沖縄県、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前に鹿児島県、K. P. V. B、沖縄県、OCVB の承諾を得るものとする。
- (2) 受託事業者は、鹿児島県、K. P. V. B、沖縄県、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条から第 20 条までに規定されている権利を行使することができない。
- (3) 成果物で使用する文章、写真、図版などは全て鹿児島県、K. P. V. B、沖縄県及び OCVB 内での利用若しくは鹿児島県、K. P. V. B、沖縄県又は OCVB が観光振興に資すると判断した上で第三者への提供が可能なもののみを使用するものとする。
- (4) 本業務にて作成する WEB 等に使用する、K. P. V. B、OCVB が著作権を得ることができない図版及び写真については、二次使用が可能なこととする。（写真データについては電子納品をし、鹿児島観光情報

Web サイト「かごしまの旅」及び沖縄観光情報 Web サイト「おきなわ物語」への掲載及び K. P. V. B 、 OCVB が認める他の媒体での使用が可能であるもの)

- (5) 成果物の使用期限は設けないものとする。
- (6) 成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含め全て受託事業者において責任を負うものとする。
- (7) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- (8) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開が出来ないことが見込まれる場合には、協議するものとする。

9 注意事項

- (1) 提案企画の中で K. P. V. B 又は OCVB が行なう業務がある場合は、企画書に明確に明記すること
- (2) 提案内容は、公的機関が行うプロモーションとして適切なものとする。
- (3) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容を全て実施することを保証するものではない。
- (4) 本業務にて使用する図版及び写真は、原則として受託事業者が用意すること。
- (5) 掲載内容の情報については、受託事業者が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行い、必要に応じて OCVB も校正を行う。
- (6) 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (7) 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において、予算や諸事情によって変更することがある。

以上